



校舎建築を見守る木陰の少年 ～ 83年間の見守り隊 ～

校 舎の解体・建築が始まる中、その様子をじっと木陰から見守る少年がいます。薪を背負って本を読みながら…。そう、あの二宮金次郎（農学者・二宮尊徳の幼名）像です。旧下市小学校の校門に入って左手にあるこの像は、明治38年（1905年。時代は日露戦争）の**第18回卒業生が発起人**となって、卒業後33年経った昭和13年（1938年）に建てたものです。実に83年もの間、下市小学校の子どもたちを見守り続けてきたことになります。

二 宮金次郎は、昭和初期、「修身」（道徳に似た科目）の教科書に取り上げられ、その像が全国の学校に広まりました。しかし長い年月が過ぎ、「勤労少年」はどうかとか、「戦前教育の名ごり」とか、最近では「歩きスマホでまねをする」のでけしからんなどの声までありました。さんざん言われようですが、83年間そこに立っていたこの像に何の罪もありません。**多くの人の思い出を背負った象徴**だと考えています。

新 しい校舎に、過去の卒業制作などの記念品をすべて残すことは不可能です。ただ、それら全ての代表として、この二宮金次郎像だけは、新しい校門の側に残し、引き続き下市の子どもたちを見守ってもらおうと考えています。義務教育学校ができたり、子どもたちがパソコンを普通に使ったり、時代は大きく変化していますが、真面目に頑張る姿はいつの時代でも美しいと思います。



教科担任制についてのアンケート結果 小学5・6年生対象（45名回答）

4月から、5・6年生は週2日**中学校で教科の授業**を受けています。アンケートの8割が肯定的な回答でした。

(1) 教えてもらう先生が教科によって変わり、授業を楽しいと思うことが多くなった。

ア そう思う	17人	肯定的回答	エ あまりそう思わない	6人	否定的回答
イ 少しそう思う	20人	82%	オ そう思わない	2人	18%

(2) 担任の先生以外の先生に気軽に話ができるようになったと思う。

ア そう思う	17人	肯定的回答	エ あまりそう思わない	7人	否定的回答
イ 少しそう思う	19人	80%	オ そう思わない	2人	20%

(3) 他に、授業を受けての感想や意見を自由に書いてください。（6年生の全回答を掲載）

★授業ごとに先生が替わったりするのでとてもわかりやすい授業をしてくれる。★中学校の内容もちょっと教えてくれるので勉強になる。★教えてもらう先生達はおもしろくていいと思うけど、担任の先生の授業（社会や理科など）も受けてみたかった。★同じ先生じゃなくて、教科が変わるにつれて、先生も替わるので授業が楽しい。★授業を細かくわかりやすく教えてくれすごくよく分かった。★とても授業が分かりやすくなった。★担任の先生の理科や社会などの授業も受けてみたい。★教え方がものすごくうまい。★中学校の授業も小学校の授業も同じくらい楽しいです。★他の先生との関わりができた。★中学校の先生の授業は分かりやすい。★先生が教科で替わるのはわかりやすいと思います。★中学校の先生の授業は少しわかりづらい。★他の先生でも授業の理解できた。★授業が分かりやすいです。★教科によって先生が替わるのはいいけど、一週間に二回しかないから授業内容を忘れてしまう。★授業を受けていて楽しい。★とても授業が楽しいと思います。★担任の先生以外の先生の授業も分かりやすい。★他に授業を受けて楽しかった。★中学校の先生は詳しく細かい所まで教えてくれてとてもわかりやすくしてくれてありがとうございました。★いろんな授業を受けている先生を知ることができた。★すごくよかった。★やっぱり一つの教科専門の先生だと授業が分かりやすい。

(4) 授業以外の生活面での感想や意見を自由に書いてください。（5,6年抜粋して掲載）

★休み時間中学生と遊べてよかった。★先生と時々話するのが楽しいです。★休み時間に鬼ごっこをして遊んでくれてうれしかった。（中学校の神崎先生）★中学校の先生と会うと話しますが少し緊張します（話しやすい先生もいます）。★開放廊下で昼休みバドミントンなどの応援をしてとっても楽しいです。★中学校に行くのがややこしい（木・金）。★中学3年の子が遊んでくれた。★中学校のほうがきたなくて、南小学校のほうがいいと思った。★あまりいつもと変わらなかった。★少し楽しくなった。等々…

令和5年度から「自由服」登校が可能 <制服等検討委員会答申>

「下市あきつ学園」制服等検討委員会から答申が出されました。最終的に、児童・生徒は「自由服」での登校が可能となり、制服は、希望者が購入する「標準服」に位置付けを変えます。「標準服」のデザインは、前期（1～6年）は今のまま、後期（7～9年）は新しくなります。色々なご意見があると思いますが、何卒ご理解ください。内容の詳細は下の通りです。

小・中校長、教務主任、生徒指導主任、小・中PTA会長、保護者代表など10名の委員の皆様、長期間に渡りどうもありがとうございました。

<これまでの開催日>

- ・R3.4.12 第1回委員会
 - ・R3.5.10 第2回委員会
 - ・R3.6.28 第3回委員会
 - ・R3.7.26 第4回委員会
 - ・R3.8.17 第5回委員会
- *於：観光文化センター

I 制服について

- 義務教育学校児童・生徒の服装については、各家庭の判断による清潔で適切な「自由服」での登校を可能とする。制服は「標準服」と位置づけ、必ずしも購入・着用しなければならないものとはしない。
- 一方で、学校は「標準服」を次の通り定め、希望者は指定制服業者を通じ購入する。
 - * 前期課程（1～6年生）については、現在の制服をそのまま「標準服」と定める。
 - * 後期課程（7～9年生）については、新しいデザインの「標準服」（例：男女同タイプのブレザー、スカート・パンツの選択など）を新たに定める。ただし、令和5年度に8年生及び9年生になる学年については、既に使用している制服を「標準服」とする。
 - * 前期課程の児童が後期課程用の「標準服」を着用しても（又は、その逆でも）差し支えはない。

理由① 「毎日着る服を考えなくていい」「人との比較がない」等の理由で、制服を支持する意見がある一方、経済的な面や、着やすさ、コロナ禍の中で毎日洗える清潔感、性の多様性など、自由服を望む意見も少なくない。制服は「標準服」として残すが、必ずしも義務としないことが望ましい。

理由② 思春期となる中学校の現在の制服は、ジェンダー・ニュートラル（ことさらに男女の区別をしない）の観点から、「標準服」については、そのデザインを見直すことが望ましい。

理由③ 自ら考える力を育む教育へ変わっていく中で、着ることについても自ら工夫し判断をさせたい。

II 体操服・上靴について

- 体操服は、前期・後期課程ともに、現在規定の体操服を継続して使用する。なお、体操服は、体育の時間や部活動での着用を基本とする。
- 上靴は、前期・後期課程ともに、現在規定の上靴を継続して使用する。
- 前期課程の児童が後期課程用の体操服・上靴を着用しても（又は、その逆でも）差し支えはない。

理由① 体操服は機能面の担保が非常に重要であり、各家庭の判断というわけにはいかない。

理由② 上靴については一目で上下靴の判別ができることが必要なので、現行のままが良い。

理由③ 7年生になり、新しく買い換えなければならないというムダをできるだけなくす必要がある。

III 通学かばん・その他について

- 通学かばんは、特に規定せず、各家庭の判断により適切なものを使用する。
- 自転車用ヘルメットは、現代的な新しいデザインを検討する。
- その他、新しい「校則・きまり」については、開学までに保護者に提示する。

理由① 通学かばんは、機能的で経済的なものを、自分で考え選び判断することに問題はない。

理由② 自転車用ヘルメットは、生徒が気持ちよくかぶるために、最近のツーリング用などのデザイン的に優れたもの、価格的に優れたものへの変更を検討すべきである。

理由③ 校則については、教育的に本当に必要なものなのかを継続して検討し、見直すべきである。

お盆が過ぎて、新学期が始まりました。今年の夏も、猛暑、豪雨、再びコロナと、人間の手に負えないことが続きました。下市に警報も出しましたが、みなさんお変わりなかったでしょうか。町民体育祭や町展、芸能発表大会などは今年も中止。「止まない雨はない。」と頭では分かっているけど、そろそろ疲れてきました。ビアガーデンが懐かしい…。

ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
FAX 0747-52-5159
✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp